

Analog Drive

Multi-circuit Analog Distortion Unit



User Manual 日本語版

 **elektron**



Analog Drive

はじめに

Analog Drive をお買い上げいただきありがとうございます。そして、おめでとうございます！ Analog Drive なら、1 台で 8 種類のアナログディストーションを使用できます。できる限り変わった、特徴的な方法で信号やトーンを歪めたいミュージシャンにとって理想的なギターペダルです。

このユーザーマニュアルでは、Analog Drive の機能について説明します。

素敵なアナログ体験をお楽しみください。

- Elektron チーム

重要な安全性とメンテナンスの指示

以下の指示をしっかりとお読みになり、使用上のアドバイスに従ってください。

1. 本製品を水の近くで使用しないでください。
2. LCD 画面やケースを、薬品などでクリーニングしないでください。埃や汚れや指紋を除去する際は、柔らかく乾いた滑らかなクロスを使用します。汚れが落ちない場合は、水で布を少しだけ湿らせてから、ふき取ってください。クリーニングを行う前には、全てのケーブルを外してください。製品が完全に乾いてから、ケーブルを再度接続してください。
3. メーカーの指示に従ってインストールしてください。使用を始める前に、本体を安定した場所に設置する必要があります。
4. 本体の設置場所の近くにあるコンセントに電源アダプターを接続してください。
5. 本体を輸送する場合は、メーカー推奨の付属品または元の箱と緩衝材を使用してください。
6. 本体を、ラジエーター、ヒートレジスター、ストーブ、その他の熱を発生させる機器（アンプを含む）の近くに設置しないでください。
7. 本体の底面の通気口はふさがらないでください。ユニットの保管場所に十分な空気の循環があることを確認してください。
8. 本製品は、アンプ、ヘッドフォン、スピーカーと組み合わせて使用することで、永久的聴力損失の原因となりうる大音量を発生する可能性があります。大音量や不快なレベルの音量で長時間使用しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり、プラグ、ソケット、本体の接続部でねじれたりしないようにしてください。
10. メーカー指定の付属品を使用してください。
11. 雷が発生しているとき、長期間使用しないときには、電源アダプターをコンセントから抜いてください。
12. 修理を行うときは、必ず資格のある修理担当者にご相談ください。機器が何らかの損傷を受けた場合、液体をこぼした場合、異物が機器内部に入った場合、機器に雨や水分がかかった場合、正常に動作しない場合、落とした場合には点検修理が必要です。

警告

火災、感電、製品破損のリスクを軽減するため、以下の指示に従ってください。

- 本体を雨、霧、水しぶきにさらさないでください。また、花瓶などの液体の入った物を本体の上に置かないでください。
- 誤動作につながる可能性があるため、機器を直射日光にさらさないでください。
- 分解しないでください。本体内部にユーザーが自身で修理、調整できる部品はありません。必要な場合は、専門のサービス技術者に修理を依頼してください。
- 電氣的仕様で定められている制限を超えないようにしてください。

Elektron の電源アダプター PSU - 3B の安全に関する指示

- アダプターは、屋内用として開発されており、屋外では使用しないでください。
- アダプターの通気性を確保するため、狭い場所には設置しないでください。過熱による感電や火災のリスクを防止するため、カーテンやその他の物体でアダプターの通気を妨げないでください。
- 直射日光にさらしたり、室温が 40℃ を超える環境で使用したりしないでください。
- 本体の設置場所の近くにあるコンセントにアダプターを接続してください。
- 電源コードが接続されているときには、アダプターはスタンバイモードになります。電源コードがコンセントに接続されている限り、初期回路は常にアクティブです。電源を完全に遮断する場合は、電源コードをコンセントから抜いてください。
- EU では、CE 認可の電源コードのみを使用してください。

アレルギーに関する警告

- Analog Drive 下部のゴム製マットには、天然ゴムラテックスが使用されています。ラテックスのアレルギーがある場合、注意してください。

法的免責事項

この文書の情報は、予告なしに変更されることがあります。また、Elektron による義務とみなされるべきものではありません。Elektron は、この文書に存在するすべての誤記の責任を負いません。また、Elektron は、この文書に記載される製品およびプログラムの改善または変更を、通知なしにいつでも行うことができます。契約、過失、またはその他の行為に関わらず、この情報の使用または実施に伴って生じる、特別な、間接的な、あるいは結果として生じる損害または、使用、データ、または利益の損失から生じる損害に対する責任を負いません。

Elektron 3年保証

Elektron 機器には、元の購入日から3年間の限定保証が付いています。保証サービスを申請するには、元の購入日を証明できる請求書や領収書が必要です。保証期間中に機器の修理が必要な場合、部品や作業の料金はかかりません。保証期間内に Elektron 機器を転売した場合、この保証も他の所有者に譲渡することができます。Elektron Style シリーズの商品（T シャツ、ステッカー、ポスターなど）は、本保証の対象となりません。

本保証は、(a) 事故、過失、誤用、乱用、不適切な設置または操作、本機器のクイックガイドや完全なユーザーマニュアルの指示に従わなかった場合、製品の出荷（請求は運送会社に行う必要があります）、Elektron または認定 Elektron 修理センター以外の者による修理または修理しようとしたことに起因する損害、劣化、故障の場合 (b) 機器が改造された場合や、シリアル番号が改ざん、修正または削除された場合 (c) 通常の摩耗や定期的なメンテナンス (d) 汗、腐食性のある環境や、極端な温度や湿度などのその他の外部要因による劣化 (e) 電気システムのサージまたは関連の電気異常、落雷による破損またはその他不可抗力 (f) 不適切な接地、認定または認定外の機器の不適切な使用により発生する RFI/EMI（干渉 / 雑音）の場合は適用されません。

小売業者から購入した機器の保証サービスの手順

保証サービスが必要な場合は、サポートにお問い合わせください。手順の進め方をご案内します。Elektron 3年間限定保証は、小売店が提供する保証に追加される保証です。

Elektron オンラインショップから購入した機器の保証サービスの手順

保証サービスの必要がある場合は、www.elektron.se の Elektron サポートにお問い合わせください。Elektron の合意がない限り、認定 Elektron 修理センターに機器を送らないでください。保証サービスのため機器を認定 Elektron 修理センターに送付する必要がある場合、配送料はお客様の負担となります。保証期間中のお客様への送料は Elektron が負担します。到着時に機器の電源が入らない場合、または元の購入日から2週間以内でのハードウェアの故障の場合は、認定 Elektron 修理センターへの配送料は Elektron が負担します。

目次

1. はじめに	9
1.1 マニュアルにおける表記について.....	9
2. パネルレイアウトとコネクタ	10
2.1 フロントパネル.....	10
2.2 背面部コネクタ.....	11
3. Analog Drive の接続	12
4. 信号の流れ	13
4.1 オーディオ信号の流れ.....	13
5. ユーザーインターフェース	13
5.1 プリセット.....	13
5.2 アクティブ.....	15
5.3 マニュアルモード.....	15
5.4 エフェクト回路.....	15
5.5 ゲイン.....	16
5.6 EQ.....	16
5.7 レベル.....	16
5.8 エクスプレッションペダル /CV 入力.....	16
6. 設定	17
6.1 設定の変更.....	17
6.2 設定.....	17
6.3 OS のアップグレード.....	20
6.4 工場出荷時リセット.....	20
7. テクニカルインフォメーション	21
8. 著作権表示と連絡先情報	22
付録 A: MIDI	23

1. はじめに

1.1 マニュアルにおける表記について

マニュアルでは、以下の表記を使用しています。

フットスイッチ名は、カッコで囲まれ、大文字と太字で表記されます。例えば、メインパネルの「Bypass/Select」とラベルが付いているフットスイッチは **[FOOTSWITCH BYPASS/SELECT]** と記載しています。

ノブ名は、大文字、太字、斜体で表記されます。例えば、"Gain" ノブは ***GAIN*** と記載しています。

Active LED のような LED インジケータは、<ACTIVE> と表記されます。

メニュー名は、大文字で表記されます。SY メニューがこの例です。

太字の大文字は、例えば **AL** のようなパラメーター設定の選択肢に使用されています。

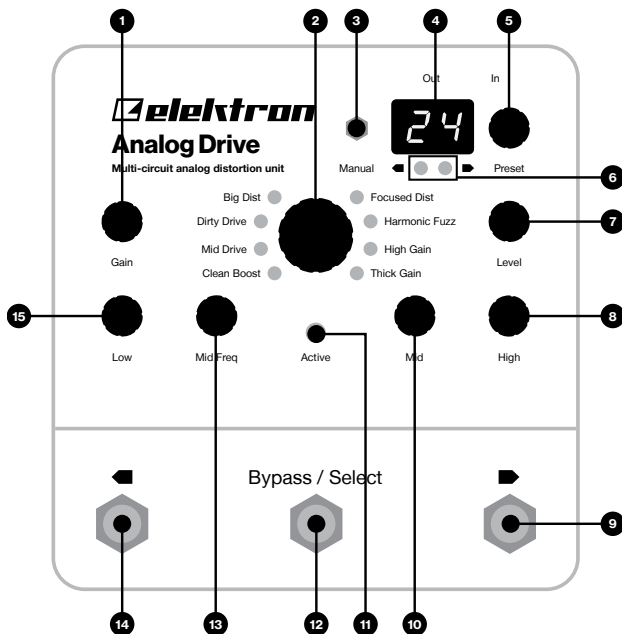
Analog Drive ユーザーマニュアル。本マニュアルの著作権は© 2016 Elektron Music Machines MAV AB に帰属します。書面による許可なく転載することはいかなる場合でも禁止します。本マニュアルの情報は、予告なく変更する可能性があります。Elektron の製品名、ロゴ、タイトル、単語またはフレーズは、スウェーデンおよび国際法によって登録され保護されている可能性があります。

その他のすべてのブランドまたは製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

本マニュアルの最終更新日：2016 年 11 月 30 日

2. パネルレイアウトとコネクタ

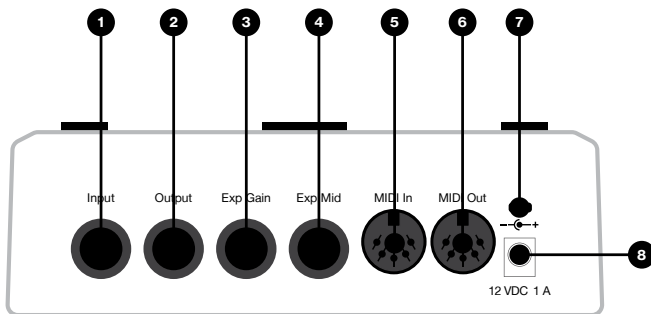
2.1 フロントパネル



1. **GAIN:** エフェクト回路に送信される入力信号のレベルを設定します。
2. **CIRCUIT SELECTOR:** エフェクト回路を 8 種類から選択します。
3. **MANUAL:** フロントパネル上のコントロールの状態に合わせてサウンドを設定し、プリセット機能を無効にします。
4. ディスプレイ
5. **PRESET:** 保存されているサウンドプリセットを選択します。

6. <PRESET INDICATORS>: どちらの方向にノブを回すと、プリセットで設定されている値に対応する位置が見つかるかを示します。
7. **LEVEL**: ペダルの全体的な出力レベルを設定します。
8. **HIGH**: EQ (イコライザー) 高周波数のブースト量またはカット量を調整します。
9. **[FOOTSWITCH RIGHT]**
10. **MID**: EQ 中周波数のブースト量またはカット量を調整します。
11. <ACTIVE>: ペダルがアクティブかバイパスかを示します。
12. **[FOOTSWITCH BYPASS/SELECT]**
13. **MID FREQ**: パラメトリック EQ 中周波数を調整します。
14. **[FOOTSWITCH LEFT]**
15. **LOW**: EQ 低周波数のブースト量またはカット量を調整します。

2.2 背面部コネクタ



1. **Input**: オーディオ入力。1/4 インチモノラルフォンプラグを使用します。
2. **Output**: オーディオ出力。1/4 インチモノラルフォンプラグを使用します。
3. **Exp Gain**: エクスプレッションペダルまたは CV を入力し、入力信号のゲインを調整します。CV 信号用 1/4 インチモノラルフォンプラグを使用します。

4. **Exp Mid:** エクスプレッションペダルまたは CV を入力し、MID FREQ を調整します。CV 信号用 1/4 インチモノラルフォンプラグを使用します。
5. **MIDI In:** MIDI データ入力。標準の MIDI ケーブルを使用して、外部 MIDI 機器の MIDI OUT に接続します。
6. **MIDI Out:** (MIDI Thru としても機能します) MIDI データ出力。標準の MIDI ケーブルを使用して、外部 MIDI 機器の MIDI IN に接続します。
7. ケンジントンセキュリティスロット: ケンジントンロックとケーブルの接続に使用します。
8. 電源入力: 付属の PSU-3b 電源アダプタを使用して、電源コンセントに接続します。

3. ANALOG DRIVE の接続

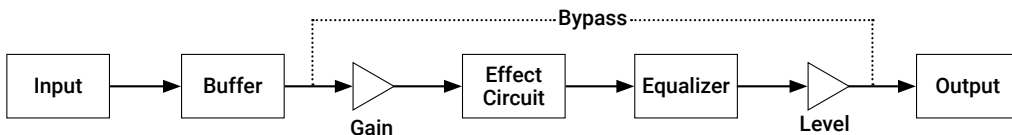
十分なケーブルスペースがある床や、丈夫なテーブルなどのしっかりした土台に、Analog Drive を設置してください。Analog Drive を他の装置に接続する前に、全ての装置のスイッチがオフになっていることを確認してください。

1. 付属の電源アダプタを電源コンセントに接続して、Analog Drive の電源入力に小さいプラグを接続します。
2. ギターを Analog Drive の INPUT ジャックに接続します。
3. Analog Drive の OUTPUT ジャックとギターアンプを接続します。
4. ギターアンプの電源をオンにします。

4. 信号の流れ

次の図は、Analog Drive の一般的なオーディオの流れを示したものです。各コンポーネントが互いにどのように通信しているかを確認できます。

4.1 オーディオ信号の流れ



5. ユーザーインターフェース

5.1 プリセット

Analog Drive には、ユーザープリセットスロットが 100 個あります (00 ~ 99)。プリセットからいずれかのコントロール値を変更すると、ディスプレイの右下隅のドットが消えます。また、このドットは、どのプリセットをロードするかを選択する時に、点灯状態で現在のプリセットを示します。プリセットを保存すると、これが、現在聞くことができる状態のプリセットになります。

プリセットのロード

方法 1

1. **PRESET** を回して、目的のプリセットを選択します。ディスプレイが点滅し、プリセットがまだロードされていないことを示します。
2. **PRESET** を押して、選択したプリセットをロードします。

方法 2

1. **FOOTSWITCH LEFT** (減少) または **FOOTSWITCH RIGHT** (増加) を押して目的のプリセットを選択します。スロットの増減は、いずれかのフットスイッチを押したままにすると 10 ずつ進めることができます。ディスプレイが点滅し、プリセットがまだロードされていないことを示します。
2. **[FOOTSWITCH BYPASS/SELECT]** を押してプリセットをロードします。

注意: 新しいプリセットをロードせずに 30 秒以上が経つと、ディスプレイの点滅が停止し、アクティブなプリセット番号に戻ります。

プリセットの保存

1. **PRESET** を 2 秒間長押しします。最初に、SA とディスプレイに表示されてから点滅し、プリセットがまだ保存されていないことを示します。
2. **PRESET** を回して、現在のサウンド設定を保存するプリセットスロットを選択します。
3. **PRESET** を押して保存します。

注意: プリセットを保存せずに 5 秒以上が経つと、ディスプレイの点滅が停止し、アクティブなプリセット番号に戻ります。

プリセットのインジケーター

プリセットを選択すると、リコールされたパラメーターの値と、ノブの現在の物理的な位置が異なる場合があります。ノブを回すと、<PRESET INDICATORS> LED により、プリセットで設定されている値に対応する位置がノブのどちらの方向に見つかるかが示されます。ノブが、保存されている値に一致する位置に来ると、両方の LED が短く点灯して、消灯します。

注意: ノブを回しても、ノブの位置とプリセットの保存されている値が一致するまで、パラメーター値は変わりません。

5.2 アクティブ

入力したサウンドにエフェクトをかけるには、Analog Drive がアクティブになっていなければなりません。ペダルがアクティブでない場合、エフェクトはかかりません。アクティブ状態のオンとオフを切り替えるには、**[FOOTSWITCH BYPASS/SELECT]** を押します。エフェクトがアクティブかそうでないかは、<ACTIVE> LED で示されます。

5.3 マニュアルモード

MANUAL スイッチを上により替えると、マニュアルモードが選択されます。マニュアルモードでは、ディスプレイと <PRESET INDICATORS> LED がオフになります。このモードでは、ペダルのコントロールで直接、パラメーターを制御します。プリセットを保存またはロードすることはできません。マニュアルモードで作成したサウンドを保存する場合は、最初にマニュアルモードを終了してから、プリセットスロットに保存してください。

5.4 エフェクト回路

- **CLEAN BOOST**

0 ~ 20 dB のブースト範囲で、高い内部電圧で動作するため、十分なヘッドルームがあります。

- **MID DRIVE**

有名なグリーンストンプボックスのサウンドと同等のサウンドです。低音がもっと必要な場合は、ロー EQ 設定を高くしてください。

- **DIRTY DRIVE**

ダーティでスワンピーなサウンドです。低いゲイン設定にするとゲーティッシュな感触が得られます。ゲイン設定を高くすると、オールドスクールなファジーサウンドになります。

- **BIG DIST**

強いディストーションがかかりますが、低音域のレスポンスは失われません。パワーアンプのディストーションをかけた、MAX 設定の Marshall のスタック型アンプを参考にしています。

- **FOCUSED DIST**

上中音域を強くフォーカスします。伝説的なギターペダルの拡張版ですが、よりフレキシブルです。

- **HARMONIC FUZZ**

滑らかな感触のオクターブファズです。生産中止となったファズをベースにしています（ファズの名前は非公開です）。

- **HIGH GAIN**

高ゲインのクリアなサウンドです。弦の分離が良く、優れたサステインです。

- **THICK GAIN**

ゲインの荷重を、多くのプリアンプよりも追加します。低音弦をバームミュートした時にクリスプなサウンドが得られ、EQ を使用してトップエンドがいくらか追加されます。

5.5 ゲイン

GAIN: エフェクト回路に送信される入力信号の量を設定します。

5.6 EQ

各特性回路には、独自のイコライザー特性が設定されています。

LOW: EQ 低周波数のブースト量またはカット量を調整します。

MID FREQ: パラメトリック EQ 中周波数を調整します。

MID: EQ 中周波数のブースト量またはカット量を調整します。

HIGH: EQ 高周波数のブースト量またはカット量を調整します。

5.7 レベル

LEVEL: ペダルの最終的な出力レベルを設定します。

5.8 エクスプレッションペダル / CV 入力

エクスプレッションペダルや CV 信号ソースを接続するための 2 つのジャックがあります。 **Exp Gain** 入力はプリセット / パネルの値にゲインを追加します。 **Exp Mid** コントロール入力は周波数範囲全体に作用します。

6. 設定

Analog Drive には、ペダルの機能をカスタマイズすることができる設定がいくつかあります。これらの設定は、プリセットの一部ではなくグローバルに保存されます。





6.1 設定の変更




1. **[FOOTSWITCH LEFT]** および **[FOOTSWITCH RIGHT]** を 2 秒間長押ししてセットアップモードに入ります。ディスプレイに短く、SU と表示され、セットアップモードになったことが示されます。現在の設定も、ディスプレイに短く表示され、2 つまたは 3 つの回路 LED でも示されます。次に、選択した設定の値の表示に変わります。
2. **CIRCUIT SELECTOR** を回して設定を選択します。
3. **PRESET** を回して、設定の値を変更します。
4. **[FOOTSWITCH BYPASS/SELECT]** を長押しして、設定を保存し、セットアップモードを終了します。
5. **[FOOTSWITCH LEFT]** および **[FOOTSWITCH RIGHT]** を 2 秒間長押しすると、変更が保存されずにセットアップモードが終了します。

6.2 設定

以下は、Analog Drive の設定と設定値です。

設定	表示	説明
Input Channel		Analog Drive が MIDI データの受信に使用する MIDI チャンネルを設定します。 OF (OFF) に設定すると、MIDI データは受信されません (範囲は 1 ~ 16、OF)。
Output Channel		Analog Drive が MIDI データの送信に使用する MIDI チャンネルを設定します。 OF (OFF) に設定すると、MIDI データは送信されません (範囲は 1 ~ 16、OF)。

設定	表示	説明
Output Thru		MIDI OUT ポートの動作を設定します。 OF = オフです。ペダルからのデータのみを送信します。 ON = オンです。MIDI IN からのデータを転送します。 MM = MIDI 統合です。MIDI IN ポートとペダルの両方からのデータを統合して送信します。
Expression Mid		Exp Mid ジャックを、CV またはエクスプレッションペダルの信号を受信するように設定します。 E = エクスプレッション CU = CV エクスプレッションペダルの範囲を調整するには、まずエクスプレッションペダルを Exp Mid に接続します。PRESET を押して、エクスプレッションペダルを最大位置にし、次に最小位置にします。
Expression Gain		Exp Gain ジャックを、CV またはエクスプレッションペダルの信号を受信するように設定します。 E = エクスプレッション CU = CV エクスプレッションペダルの範囲を調整するには、まずエクスプレッションペダルを Exp Gain に接続します。PRESET を押して、エクスプレッションペダルを最大位置にし、次に最小位置にします。
Expression Destination		Exp Gain と Exp Mid からの信号の宛先を設定します。 IE = 内部と外部 (MIDI) -E = 外部 (MIDI) のみ I- = 内部のみ -- = ディスティネーション なし

設定	表示	説明
Preset Destination		PRESET ノブ (プログラムチェンジ) の宛先を設定します。 IE = 内部と外部 (MIDI) I- = 内部のみ
Continuous controllers Destination		連続コントローラー (ノブ) の宛先を設定します。 IE = 内部と外部 (MIDI) -E = 外部 (MIDI) のみ I- = 内部のみ -- = ディスティネーション なし
SysEx		SysEx 送受信ユーティリティです。 注意: これは機能であり、保存できる設定ではありません。 Sending SysEx AL = すべてのプリセットを送信します。 00-99 = 選択したプリセットのみを送信します。 PRESET を押すと、SysEx データの送信が開始されます。 Receiving SysEx AL = 送信されたすべてのプリセットを、元のプリセット位置で受信します。 00-99 = 送信されたすべてのプリセットを受信し、選択したプリセット位置から数字の大きい方に向かって順に保存します。スロットが 99 まで達したら、00 に進みます。

6.3 OS のアップグレード

MIDI In ポートを使用して、Analog Drive のオペレーティングシステムを更新することができます。OS SysEx ファイルを送信するには、Windows または Mac OS で使用できる無料の SysEx ユーティリティソフトウェア C6（あるいはその他互換性のある SysEx ソフトウェア）を使用します。OS SysEx ファイルおよび C6 ソフトウェアは、Elektron の Web サイトからダウンロードできます。

1. OS SysEx ファイルの送信に使用するデバイスを、Analog Drive の MIDI In に接続します。
2. **PRESET** ノブを押したまま、コンセントに電源アダプタを接続して Analog Drive の電源をオンにします。ディスプレイに UP と表示されます。
3. OS SysEx ファイルを送信し、ディスプレイに AA または UE が表示されるまで待ちます（下記参照）。
4. Analog Drive を再起動して、通常の使用状態に戻します。

アップグレードが成功すると、ディスプレイに AA と表示されます。ディスプレイに UE が表示された場合、アップグレードが失敗しています。再度 Analog Drive を使用するには、OS のアップグレードを再試行する必要があります。

6.4 工場出荷時リセット

Analog Drive を、すべての設定とプリセットが元の工場出荷時に戻った状態にリセットします。

1. **[FOOTSWITCH LEFT]** および **[FOOTSWITCH RIGHT]** を押したまま、コンセントに電源アダプタを接続して Analog Drive の電源をオンにします。ディスプレイに最初 FR と表示され、次に YN と表示されます。
2. **PRESET** ノブを、Y が点滅を開始するまで回し、**PRESET** を押して工場出荷時リセットを開始します。

7. テクニカルインフォメーション

電氣的仕様

オーディオ出力

メイン出力レベル: +24 dBu ピーク

バランスオーディオ入力

入力レベル: +24 dBu ピーク

オーディオ入力インピーダンス: 400 k Ω

エクスプレッションペダル入力

チップ入力レベル: -5 V ~ +5 V

リングより供給される電圧: +5 V

エクスプレッションペダルおよび CV 対応

機器の消費電力: 5W、標準 400 mA

対応 Elektron 電源: PSU-3b

ハードウェア

2 桁 7 セグメント LED ディスプレイ

MIDI In/Out

1/4 インチオーディオ出力ジャック x 1

1/4 インチオーディオ入力ジャック x 1

1/4 インチエクスプレッションペダル

入力ジャック x 2

電源入力: センターポジティブ 5.5 x 2.5 mm

パレルジャック、12 V DC、1 A

物理的仕様

頑丈なキャストアルミニウム筐体

サイズ: W171xD177xH62mm (6.8x7.0x2.5

インチ) (ジャック、ノブ、フットスイッチを含む)

重量: 約 1.2kg (2.7lbs)

8. 著作権表示と連絡先情報

著作権表示

製品の設計および開発

Oscar Albinsson

Ali Alper Çakır

Magnus Forsell

Anders Gärder

Mattias Rickardsson

Kilo Design

その他設計

Johan Damerau

Ufuk Demir

Thomas Ekelund

Jon Mårtensson

マニュアル

Erik Ångman

連絡先情報

Elektron Web サイト

<http://www.elektron.co.jp>

会社所在地

Elektron Music Machines Japan K.K.

〒151-0053

東京都渋谷区代々木 4-28-8

村田マンション 311 号

電話

03-6300-7601

付録 A: MIDI

この付録では、Analog Drive の MIDI 仕様の一覧を記載します。

- **プログラムチェンジ**: 0-99。
- **CV モード**: 10 ビット、MSB7、LSB3。MSB = 64 が 0V 相当。
- **エクスプレッションペダルモード**: 9 ビット。MSB7、LSB2。
- **MIDI CC**: 8 ビット。MSB7、LSB1。

パラメーター	CC MSB	CC LSB
Gain	16	48
Low	17	49
Mid Freq	18	50
Mid	19	51
High	20	52
Level	21	53
Expression Gain	4	36
Expression Mid	1	33

 **elektron**